

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 総合書道

教科： 芸術 科目： 総合書道 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 7 組

使用教科書：（ 特になし ）

教科 芸術 の目標： 様々な古典の作風を捉え、書くことができるようになり、創作活動において自らで作風を考え表現

- 【知識及び技能】 様々な古典の書き振り・特徴を知り書法を身につける。古典学習においてはその古典の背景を踏まえた上で臨書活動を行う。創作においては学習した臨書を活かした創作を行う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、表現していく。また書字した作品と古典を比較し鑑賞したことを次の制作活動に活かしていく。また、様々な古典の筆法を学習したことを創作活動で表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、学習を行う。鑑賞活動では、他の生徒の作品を鑑賞することにより、次の制作に活かしていく。

科目 総合書道 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・毎時間違う古典に触れ、様々な書きぶりを理解し身につける。（楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名） ・好きな古典の一つを選び、その古典の特徴や歴史背景を調べ、半紙に臨書して練習し、最終的には条幅に作品として制作する。 ・これまで深めた臨書活動を活かして創作活動を行い、幅広い作品制作を行う。	・古典学習を通して、古典の特徴を自らで捉えられるようになり、表現できる力を身につける。 ・選択した古典の特徴を細かく鑑賞し捉え、自らで考えて制作に取り組む。 ・創作活動において、自分の書きたい文字・文章を選び、表現する。また選んだ文字・文章と書体や書風が合うかを考え表現する。	・生徒同士で意見交換して、対話的学習を行い、表現と鑑賞の両方の力を高めていく。 ・古典を鑑賞し自らで分析する力を養うことを目標とする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
【知識及び技能】 ・毎時間違う古典に触れ、様々な書きぶりを理解し身につける。（楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名） 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典学習を通して、古典の特徴を自らで捉えられるようになり、表現できる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞活動の際は、生徒個々で古典の特徴等をワークシートでまとめた後、生徒同士で意見交換して、対話的学習を行い、表現と鑑賞の両方の力を高めていく。	【指導事項】 ○制作（鑑賞活動） ○発表活動 【教材】 ○書道用具一式、毎時間古典のプリントを配布する。	○	○	○	【知識及び技能】 ・様々な書きぶりを理解し身につけることができるか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典学習を通して、古典の特徴を自らで捉えられるようになり、表現できる力を身につけることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞活動の際は、生徒個々で古典の特徴等をワークシートでまとめた後、生徒同士で意見交換して、対話的学習を行い、表現と鑑賞の両方の力を高めていくことができるか。	○	○	○	24	

1 学期

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 総合書道

教科： 芸術 科目： 総合書道 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 7 組

使用教科書：（ 特になし ）

教科 芸術 の目標： 様々な古典の作風を捉え、書くことができるようになり、創作活動において自らで作風を考え表現

【知識及び技能】 様々な古典の書き振り・特徴を知り書法を身につける。古典学習においてはその古典の背景を踏まえた上で臨書活動を行う。創作においては学習した臨書を活かした創作を行う。

【思考力、判断力、表現力等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、表現していく。また書字した作品と古典を比較し鑑賞したことを次の制作活動に活かしていく。また、様々な古典の筆法を学習したことを創作活動で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、学習を行う。鑑賞活動では、他の生徒の作品を鑑賞することにより、次の制作に活かしていく。

科目 総合書道 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・毎時間違う古典に触れ、様々な書きぶりを理解し身につける。（楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名） ・好きな古典の一つを選び、その古典の特徴や歴史背景を調べ、半紙に臨書して練習し、最終的には条幅に作品として制作する。 ・これまで深めた臨書活動を活かして創作活動を行い、幅広い作品制作を行う。	・古典学習を通して、古典の特徴を自らで捉えられるようになり、表現できる力を身につける。 ・選択した古典の特徴を細かく鑑賞し捉え、自らで考えて制作に取り組む。 ・創作活動において、自分の書きたい文字・文章を選び、表現する。また選んだ文字・文章と書体や書風が合うかを考え表現する。	・生徒同士で意見交換して、対話的学習を行い、表現と鑑賞の両方の力を高めていく。 ・古典を鑑賞し自らで分析する力を養うことを目標とする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢	仮						
【知識及び技能】 ・好きな古典の一つを選び、その古典の特徴や歴史背景を調べ、半紙に臨書して練習し、最終的には条幅に作品として制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・選択した古典の特徴を細かく鑑賞し捉え、自らで考えて制作に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2時間に1回、それぞれの作品の制作状況を発表し、生徒同士で批評会を行い、次回の制作にいかす。	【指導事項】 ○制作（鑑賞活動） ○発表活動 【教材】 ○書道用具一式、生徒個々で選択した古典のプリントをコピーして配布。	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・好きな古典の一つを選び、その古典の特徴や歴史背景を調べ、半紙に臨書して練習し、最終的には条幅に作品として制作することができるか。 【思考力、判断力+AA21:AM52制作に取り組むことができるか】 ・2時間に1回、それぞれの作品の制作状況を発表し、生徒同士で批評会を行い、次回の制作にいかすことができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2時間に1回、それぞれの作品の制作状況を発表し、生徒同士で批評会を行い、次回の制作にいかすことができるか。	○	○	○	28	

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 総合書道

教科： 芸術 科目： 総合書道 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 7 組

使用教科書：（ 特になし ）

教科 芸術 の目標： 様々な古典の作風を捉え、書くことができるようになり、創作活動において自らで作風を考え表現

【知識及び技能】 様々な古典の書き振り・特徴を知り書法を身につける。古典学習においてはその古典の背景を踏まえた上で臨書活動を行う。創作においては学習した臨書を活かした創作を行う。

【思考力、判断力、表現力等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、表現していく。また書字した作品と古典を比較し鑑賞したことを次の制作活動に活かしていく。また、様々な古典の筆法を学習したことを創作活動で表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 古典学習では主体的に古典の特徴を捉え、学習を行う。鑑賞活動では、他の生徒の作品を鑑賞することにより、次の制作に活かしていく。

科目 総合書道 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・毎時間違う古典に触れ、様々な書きぶりを理解し身につける。（楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名） ・好きな古典の一つを選び、その古典の特徴や歴史背景を調べ、半紙に臨書して練習し、最終的には条幅に作品として制作する。 ・これまで深めた臨書活動を活かして創作活動を行い、幅広い作品制作を行う。	・古典学習を通して、古典の特徴を自らで捉えられるようになり、表現できる力を身につける。 ・選択した古典の特徴を細かく鑑賞し捉え、自らで考えて制作に取り組む。 ・創作活動において、自分の書きたい文字・文章を選び、表現する。また選んだ文字・文章と書体や書風が合うかを考え表現する。	・生徒同士で意見交換して、対話的学習を行い、表現と鑑賞の両方の力を高めていく。 ・古典を鑑賞し自らで分析する力を養うことを目標とする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	漢	仮					
【知識及び技能】 ・これまで深めた臨書活動を活かして創作活動を行い、幅広い作品制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・創作活動において、自分の書きたい文字・文章を選び、表現する。また選んだ文字・文章と書体や書風が合うかを考え表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品鑑賞会を開き、それぞれの創作作品について制作過程を踏まえて発表する。	【指導事項】 ○制作（鑑賞活動） ○発表活動 【教材】 ○書道用具一式、タブレット	○	○	○	○	○	○	○	○	18
										合計